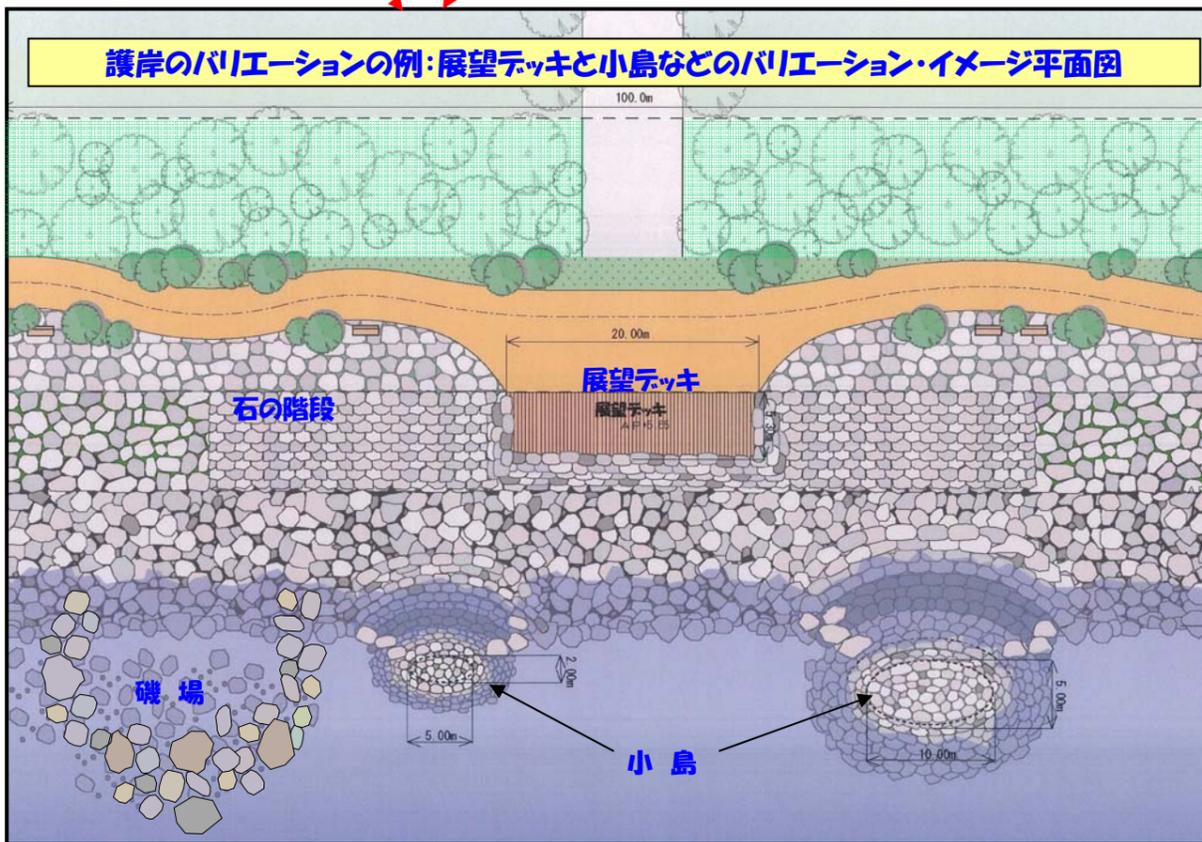
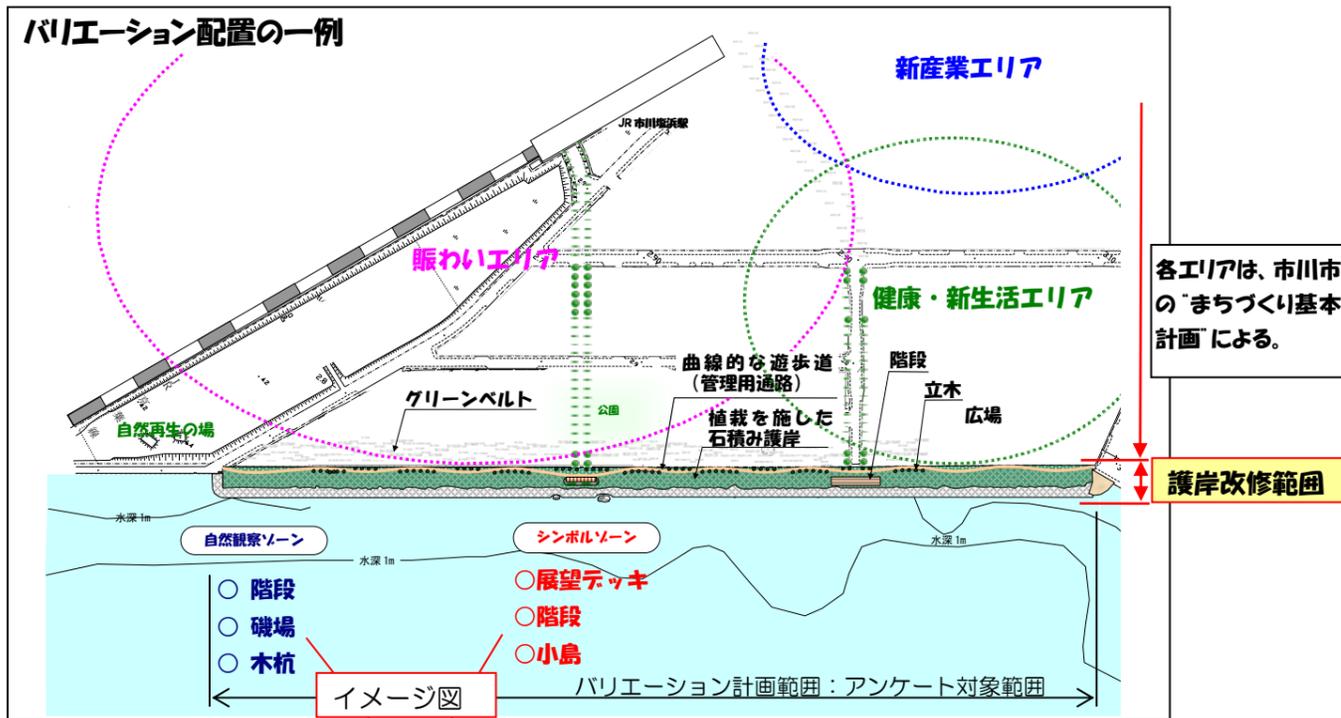


**問8：護岸のバリエーション（変化）のイメージについて**

このページは、下の図に示すように背後の新たなまちづくりなどの都市計画エリアと連続的・一体的に海岸部を利用できるよう検討中の、護岸改修構造のバリエーション（変化）の一例です。このバリエーション・イメージについて、右の設問でお聞かせ下さい。

なお、ここに示している構造のバリエーション（変化）は、緊急対策の中で短期的に整備可能なイメージを示しています。長期的には、今後多くのバリエーションを検討していく予定です。



**<問8-1：護岸のバリエーションについて>**

左のイメージ平面図のバリエーションの例を下に示します。それぞれのバリエーションは、“人々と三番瀬のふれあい”や“海と陸との連続性”の目標に対して有効かどうか、以下の項目に当てはまるものに1つだけ○を記入してください。

**① 展望デッキのイメージ**

1. 有効でない 2. どちらでもない 3. 有効である

※展望デッキは、三番瀬や海の眺望を楽しんだり、休憩の場としての利用が期待できます。

**② 磯場のイメージ**

1. 有効でない 2. どちらでもない 3. 有効である

※磯場は、水辺の生き物を観察したり、カニとりなどの磯遊びの場としての利用が期待できます。

干潮時の利用イメージ

**③ 小島のイメージ**

1. 有効でない 2. どちらでもない 3. 有効である

※小島は、水辺の生き物を観察したり、カニとりなどの磯遊びの場としての利用が期待できます。

干潮時の利用イメージ

**④ 石の階段のイメージ**

1. 有効でない 2. どちらでもない 3. 有効である

※階段は、水際まで降りたり、階段の上で休息したりする場として利用が期待できます。